



戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。

世界遺産・地域遺産見学バスツアー 2018 春爛漫の「百舌鳥・古市 古墳群」に行く…



今回のツアーは、4月3日（火）、桜満開の中、平成31年に世界文化遺産登録される予定である「百舌鳥・古市古墳群」を見学するため、ユネスコ会員や市民等19人が参加しました。

百舌鳥・古市古墳群は、平成22年に登録予定候補リストに入り、昨年、日本政府から国連ユネスコ本部へ7つの国内リストの中から選ばれ推薦された歴史遺産です。

最初に向かったのは、堺市役所。

その21階展望台から、大仙古墳（伝仁徳天皇陵古墳）を眺望し、「百舌鳥エリアの中央部に位置するこの日本最大の前方後円墳は当時海に隣接しており大阪湾からの眺めを意識した場所に造られた」と、地元ガイドから説明を受けました。墳丘の長さは486mで、世界遺産の秦の始皇帝陵より大きく、その墳墓の主は古墳時代倭の5王の讃と類推されています。当時の東アジアの覇権国家は中国北朝の北魏で、南朝は東晋から宋へなどに移る時期でした。

次にその古墳の南側にある「堺市立博物館」を訪問。博物館のロビーに設置された百舌鳥古墳群シアターでは、約200インチの大型スクリーンでCG技術を駆使して制作された迫力ある空撮映像を楽しみました。

お昼は、がんこ亭自慢の庭園を見ながら、「平野郷屋敷」で懐石料理をいただきました。

午後は「近つ飛鳥博物館」を訪問。大阪府を中心とする古墳時代から飛鳥時代の古墳などの遺跡に、調査・研究の成果をわかりやすく展示した、わが国でもあまり例のない古墳と、その時代に関する専門博物館です。安藤忠雄氏設計の博物館は霊の吹き抜けも考慮したコンクリート張りの見事な博物館でした。帰路は、道の駅「白鳥の郷」に立ち寄り、羽曳野のお野菜や太子ワインなどを購入、午後5時には予定通り芦屋に戻りました。

（文責：芦屋ユネスコ協会理事・中川 明）

第 39 回 阪神間ユネスコ協会連絡会 合同事業 講演会「平和と俳句」

「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かねばならない」(ユネスコ憲章前文)とあるように、ユネスコの目的は「国際平和と人類の福祉」の活動を実践していくことです。

毎年、阪神間連絡会の8市ユネスコ協会が交代で開催している「合同事業」ですが、第39回にあたる本年は、芦屋市が当番市となり、下記のとおり開催することが決まりました。

当番市ですので、会場の設営・受付ほかホストとして参加される皆さんのお世話をすることなどが必要です。お手伝いいただける会員は、事前にお近くの役員までお申し出ください。

講演会「平和と俳句」

講師：稲畑 汀子 氏(日本伝統俳句協会会長)

◆日 時 2018年 8月 1 日(水)

午後2時開演(1時30分開場)

◆会 場 芦屋ラポルテホール

(JR芦屋駅北側・ラポルテ本館3階)

◆対 象 阪神間8市ユネスコ協会会員・市民

※参加申し込みは、各ユネスコ協会へ。

※直接参加はできませんので、ご了承ください。

※会場へは、公共交通機関(JR・バス)をご利用ください。



◆講師プロフィール

父・高濱年尾、母・喜美の次女として横浜市で生まれる。幼児期を鎌倉で過ごし、1935年芦屋に転居。小学生のころから祖父・高濱虚子と父・年尾に同行して全国を廻る。1956年、24歳で稲畑順三氏と結婚、二男一女の母となる。1965年「ホトトギス」同人。1977年より「ホトトギス」雑詠選者。

1979年、父・高濱年尾の死去により「ホトトギス」主宰を継承。1982年より朝日俳壇選者。以後世界各地を吟行し、諸外国との俳句親善に努める。1987年、日本伝統俳句協会を設立し、会長に就任。1994年、NHK俳壇の講師・選者(1996年まで)。同年、芦屋市教育委員長に就任。2000年、虚子記念文学館を芦屋に開館、理事長に就任。2013年10月、「ホトトギス」主宰を息子の稲畑廣太郎氏に譲り、名誉主宰に就任。正岡子規国際俳句賞選考委員等も努め、国際俳句シンポジウムなど、俳句国際化のための活動も積極的に行っている。

また、2017年には「俳句をユネスコ世界無形文化遺産に」結成された国際俳句交流協会の有馬朗人会長(元東大総長・文相)ら俳句4協会が提唱する推進協議会にも参加され、「俳句で世界を平和に」と提唱する活動を進められている。



次代へつなごう「芦屋の未来遺産」 ～芦屋文化の 100 年リレー⑭～



◆ 10 周年を迎えた未来遺産運動

2009 年にスタートした「未来遺産運動」は、今年で 10 年目を迎えます。

この運動は全国的な広がりを見せ、日本ユネスコ協会連盟の「プロジェクト未来遺産」として登録された数は、66 にもなっています。

芦屋ユネスコ協会においても、2009 年 12 月に「芦屋未来遺産運動推進委員会設置要綱」を施行、「芦屋未来遺産運動推進委員会」を設置しました。

そして 1 年に 2 回(5 月・11 月)委員会を開催し、芦屋市の歴史と伝統のもとで豊かに培われてきた地域の文化・自然遺産を未来遺産とし、未来を託す子どもたちに伝える運動を進めてきました。

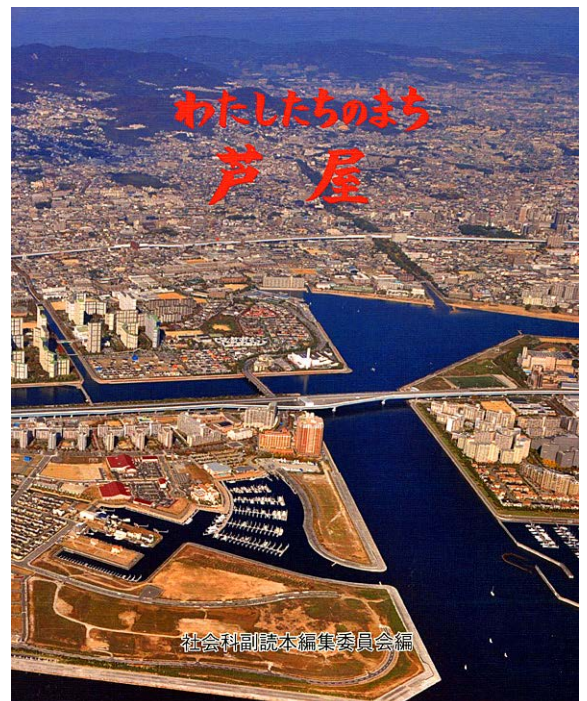
◆ 芦屋ユネスコ協会の取り組み

私たちの住む芦屋市は、自然遺産・史跡と文化財、民話や歌物語、郷土資料や芸術文化、ライフスタイルを含め、人口も 10 万人に満たない小さなまちですが、日本でも有数の、未来へ伝えるべき多くの遺産を抱える宝石のようなまちです。

芦屋ユネスコ協会では、芦屋市制施行 70 周年を記念して、2010 年に冊子「みんなで選んだ芦屋の未来遺産」を発行、さらに 2013 年にはその「補完・解説版」を発行し、ホームページに掲載しました。さらに 2017 年には、そんな芦屋のまちを自然遺産・歴史遺産・文化遺産・景観遺産・その他の遺産に分類、未来遺産運動推進委員会で 100 年後の子どもたちに残したい「芦屋の未来遺産 100 選」を選定し、今後どのように周知していくのがよいかについて検討してきました。

その結果、小学校 3 年生が社会科副読本として学んでいる「わたしたちのまち芦屋」に、この 100 選を差し込むことになりました。そこで、子どもたち用に新たに編集をし直し、漢字にはルビを打ち、写真やマップ・解説をできるだけ入れた原案を作成し、2018 年度中に未来遺産運動推進委員会で原案を作成することになっています。

(文責：常任理事・南 ゆう子)



芦屋ユネスコ協会

2018 年度 総会 & 懇親会 へのご案内

芦屋ユネスコ協会「2018 年度 総会 & 懇親会」を、下記のとおり開催します。

総会後の懇親会も、皆さんとともに心をつなげて楽しく過ごしたいと思います。

会員の皆さまには5月中旬(予定)に別途往復はがきで詳細をお知らせいたしますが、奮ってご出席くださいますよう、ご案内申し上げます。

- 日 時 6月15日(金)《総会》午後5時30分～7時 《懇親会》午後7時～8時30分
- 会 場 《総会》芦屋市民センター 301 室 《懇親会》芦屋市民センター・多目的ホール
- ミニ講話 「谷崎文学 もう一つの楽しみ方」 谷崎潤一郎記念館館長・宇川 聡氏

2018 年度 年会費 納入のお願い

芦屋ユネスコ協会は、皆さんの年会費によって運営しています。また、「つなげよう 平和の心」を活動方針として、共に生きる世界を目指し、学び・行動するための多くの活動を実践しています。年会費は、役員にお託けいただくか、下記口座へお振り込みいただく方法があります。

【芦屋ユネスコ協会の銀行口座】

- ◆銀 行 名 三井住友銀行 芦屋駅前支店
- ◆口座番号 普通預金 3901693
- ◆口座名義 芦屋ユネスコ協会 会長 山田 利郎

※上記ご案内の「総会」会場受付でも、
会費の納入を承りますので、会計担当
まで当日お申し出ください。

◎日本ユネスコ協会連盟提唱の「東日本大震災の支援募金」に、ご協力をお願いします。

◎「世界寺子屋運動」のための「書き損じはがき」などのご提供を、引き続きお願いします。

新入会員の紹介

ご入会ありがとうございました。大歓迎申し上げます。

- ★阪田 三菜子 様 ★相馬 勇子 様 ★中島 美奈子 様
- ★澤武 潤子 様 ★山内 守明 様 ★松本 淳子 様

編集後記



総会のご案内を差し上げる季節となりました。今回は、役員改選や会則の一部改訂等、とても大切な今後の活動の方向を決定する総会となります。万障お繰り合わせの上、おひとりでも多くのご出席賜りますよう、お願い申し上げます。2000年に再スタートを切った芦屋ユネスコ協会も、すでに20年近い時間が経過しようとしています。改めて、将来のユネスコ活動の在り方など、皆様のご意見をお聞かせいただきたいと願っております。
(事務局次長・南ゆう子)